

和し 鍛え 学ぶ

本気が楽しい ～百花繚乱の体育祭は明日！

体育祭まで1週間後に迫ったある日のことです。3年生の学年練習の様子を見にいきました。見に行った練習内容は、軽快なダンスと「よさこいソーラン」の二部で構成される『雲外蒼天』のプログラムです。

その日、ソーランの指導を夏休み前からずっと中心になって行ってきた3年生のK先生が、生徒に向けて話をしました。「**本気が楽しいんだ**」と。それから毎日毎日練習を重ね、見違えるほど演技が良くなっていきました。細かい動き、声の大きさ、気合。すべてがどんどん良くなり、演技を見て「素晴らしい」と感じた翌日には「もっと素晴らしい」と感じる演技になり、その翌日はさらに「素晴らしい」を超える「すごい」と感じる演技へと進化していきました。生徒たちの底力、可能性、そして最後の体育祭にける生徒や3年生の先生たちの思いの深さや熱さを感じました。

本気であることの美しさ。本気でやることでしか得られない楽しさ。一生懸命に打ち込むことの尊さ、仲間と創り上げる感動、達成感。これから生きていくうえで支えとなってくれる大切なものを、3年生の生徒たちは、この体育祭への取組を通じて学んだのではないのでしょうか。

体育祭のテーマは「百花繚乱」。明日の体育祭では、一人一人が全力で大輪の花を咲かせてください。「**GRADE E**」の名にふさわしい姿を39回生がきっと見せてくれると信じています。



あと半年で最上級生になる2年生。2年生の演技はクラスカラーの旗が美しく映えるダンスです。7色の旗が集まったところを遠くから見ると、7色の虹のように見えます。この体育祭を通じて育ててきた学年の団結力を虹のように美しく輝かせ、40回生の「証」として魅せてほしいと思います。

入学して半年経った1年生。今年は中学校の体育祭の雰囲気を感じ、先輩たちの姿から学び、これからの自分たちの成長につなげてほしいです。全力で頑張る姿、全力で応援したり声を掛け合ったりする姿に、クラスや学年、一人一人の「煌めき」を感じます。明日の体育祭、全力で楽しみ、全力で煌めきながらグラウンドを駆け抜けてください。最高の体育祭にしましょう。

